

## 第6回鉄道オペレーションにおけるモデル解析国際会議 RailTokyo2015 に国内外より 200 名超の参加



2015年4月3日  
RailTokyo2015 国内実行委員会

2015年3月23日(月)～26日(木)に、鉄道オペレーション国際研究協会(International Association of Railway Operations Research (IAROR))主催、第6回鉄道オペレーションにおけるモデル解析国際会議(通称 RailTokyo2015) (RailTokyo2015 国内実行委員会 委員長 富井規雄 千葉工業大学教授)を、千葉工業大学 津田沼キャンパスで開催し、20ヶ国から230名が参加しました。Ingo A. Hansen デルフト工科大学教授のオープニングスピーチ、小宮一仁 千葉工業大学学長のご挨拶で本会議を開始し、2件の基調講演、1件の招待講演、104件の研究発表が行われました。一般公開とした基調講演は、会議参加者を含めて約180名が聴講しました。

【日程】 2015年3月23日(月)～26日(木)

【開催地】 千葉工業大学 津田沼キャンパス

【参加者数】

日本 123名、欧州 71名、アジア(日本を除く) 27名、北米 5名、豪州 4名

【実施プログラム概要】

3月23日[月] 各分野一線の研究者による講習会 (Short Course)

3月24日[火] オープニング、招待講演、各研究発表セッション

3月25日[水] 基調講演(2件)、各研究発表セッション、レセプション

3月26日[木] 各研究発表セッション、クロージング、技術訪問

【研究発表件数】

104件

(旅客流動モデル、輸送容量、ロバスト性、省エネルギー、計画作成、運転整理、貨物輸送など各分野にまたがる32セッション全体の発表件数)

【基調講演(2件)】

High-density Metropolitan and Intercity Railway Transportation

「首都圏及び都市間の高密度輸送について」

東日本旅客鉄道株式会社 常務取締役 鉄道事業本部長

川野邊 修 様

Realization of Highly-valued Railway Transportation

「付加価値の高い鉄道輸送について」

九州旅客鉄道株式会社 代表取締役社長

青柳 俊彦 様

【招待講演】

Superconducting Maglev, Development and Progress toward Revenue Service

「超電導リニア、営業開始に向けた開発状況について」

東海旅客鉄道株式会社 中央新幹線推進本部 担当課長

深見 研一 様

【若手研究者賞(2名)】

Emma V. Andersson さん (スウェーデン リンショーピング大学 (Linköping University))

Improved Railway Timetable Robustness for Reduced Traffic Delays - a MILP approach

「遅延低減を目指した列車ダイヤのロバスト性向上 - 混合整数計画法によるアプローチ」

落合康文さん (小田急電鉄株式会社)

Punctuality analysis using a micro simulation in which drivers' behavior is considered

「運転士の操作を考慮したマイクロシミュレーションによる定時性解析」

1件目の基調講演では、JR東日本の川野邊常務取締役より、首都圏および新幹線の高密度な列車運行、湘南新宿ラインや上野東京ラインによる直通運転など、利便性向上に向けた取り組みが紹介されました。2件目では、JR九州の青柳社長より、クルーズトレインななつ星 in 九州をはじめとした各種観光列車など、鉄道の魅力を高めるための取り組みが紹介されました。招待講演では、JR東海の深見担当課長より、超電導リニアの開発経緯、L0系車両の形状などが紹介されました。

35歳未満を対象とした若手研究者賞には、スウェーデンのリンショーピング大学（Linköping University）Emma V. Andersson さん、小田急電鉄株式会社落合康文さんの2名が選出されました。

次回の会議は2017年中にフランスのリール（Lille）で開催することとなりました。また、今回の会議中に開催されたIAROR理事会において、IAROR発足以来、10年間にわたって会長を務めたIngo A. Hansen デルフト工科大学教授が副会長となり、富井規雄 千葉工業大学教授が新会長に指名されました。



Hansen教授によるオープニングスピーチ



左から 川野邊常務、青柳社長、富井教授



基調講演会場の様子（千葉工業大学 津田沼キャンパス内）



若手研究者賞を受賞するEmma V. Anderssonさん



若手研究者賞を受賞する落合康文さん

主催 International Association of Railway Operations Research (IAROR) 鉄道オペレーション国際研究協会  
RailTokyo2015 国内実行委員会（委員長 富井規雄 千葉工業大学教授）  
後援 一般社団法人日本鉄道運転協会  
一般社団法人電気学会 産業応用部門 交通・電気鉄道技術委員会

お問い合わせ：

RailTokyo2015 国内実行委員会 事務局

E-mail [railtokyo2015@jtbcn.co.jp](mailto:railtokyo2015@jtbcn.co.jp)